山梨県環境科学研究所

環境情報センターだより

№24　10 月 5 日発行

「歩こう。秋」

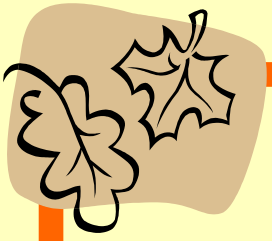
秋は行楽に適した季節です。紅葉した森の中の散歩は夏とは違った心地良さがあります。
10 月は「全国・自然歩道を歩こう月間」です。これは環境省が定めた月間で、自然歩道を歩くことによって自然への理解を深めることを目的としています。期間中各地で歩くウォーキングイベントが数多く開催されます。これを機会に皆さんも自然の中を歩いてみませんか。

オススメ新着図書紹介

となりのツキノワグマ

宮崎 学：著　新樹社：出版

近年、クマと人とのトラブルが相次いでいます。これは、それだけクマと人が近くで生活していることの現れです。では、私たちはどれだけクマのことを理解しているのでしょうか。この本は、定点カメラや、巣箱の設置などユニークな撮影方法を用いてツキノワグマを撮影した写真集です。遊歩道を歩く姿や、カメラをいたずらする瞬間など色々な写真が載っています。中には、庭先に現れた証拠であるクマ棚の写真もあり、意外と身近にクマが現れていることを考えさせられる本です。



9月の新着図書

書名	：	著者
☆『富士山学への招待』	：	渡辺 豊博
★『世界の環境問題　第 6 巻』	：	川名 英之
☆『名景世界遺産 自然遺産編』	：	ピエ・ブックス
★『ドングリの戦略』	：	森広 信子
☆『地球温暖化と植物の不思議』	：	日本雑学研究会
★『C02 のきほん』	：	奥山 康子

他にも多数

もいのおはなしかい
-えほんのよみきかせ-

☆今月のテーマ☆ **秋を楽しもう！**

幼児から小学校低学年を対象に、絵本の読み聞かせやゲームを通して本に親しみ、自然の不思議や環境問題などを紹介します。10 月は「秋を楽しもう！」をテーマに秋ならではの自然に関する絵本を読みます。お楽しみに！

日時：10 月 10 日(日) 【毎月第 2 日曜日開催】 10：30～、13：30～ (1 回約 30 分)

場所：環境研の森の中 (雨天時は本館 3 階談話室で実施)

対象：幼児～小学校低学年

※対象年齢外の方でも参加できます。 申込不要

お知らせ

10月22日（金）～10月29日（金）は、本の貸出をお休みさせていただきます。

環境情報センターの図書館システム入れ替えのため、下記の期間利用制限をさせていただきます。それに伴って期間中**図書の貸出ができなくなり、新しい本や雑誌も入らなくなります。**

≪貸出休止期間：10 月 22 日（金）～10 月 29 日(金)≫

●利用が制限されること：資料の貸出

※資料の閲覧及び返却、視聴覚資料などの利用はできます。

≪新しい本や雑誌が入らなくなる期間：10 月 4 日（月）～10 月 28 日（木）≫

●影響を受ける雑誌

『科学』『切抜き速報科学と環境版』『月刊天文ガイド』『日経エコロジー』
『ザ・やまなし』『しぜんのくに』『ソトコト』『ビーパル』『山と渓谷』

※上記の 9 種類の雑誌の最新号は 10 月 29 日以降に入ります。

期間中ご迷惑をおかけしますが、皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

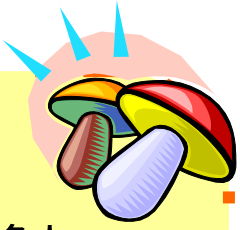
特設コーナー

きのこワールドに出かけよう

食べ物として定着しているきのこですが、実は森の中で大きな役割を果たしており、その生態はとてもユニークです。

今回のカウンター横特設コーナーは、そんなきのこの不思議な世界に案内する本を集めました。

実施期間：9 月 20 日～10 月 19 日



オススメ本紹介
【きのこ図鑑編】

『いきなりきのこ採り名人』
井口 潔・著　小学館
きのこ採り初心者に最適の本です。

『日本の毒きのこ』
長沢 栄史・監修　学研
毒きのこを扱った珍しい図鑑です。

『詳細図鑑きのこの見分け方』
大海 秀典［他］・著　講談社
きのこの見分け方に迷ったらこの本！

オススメ本紹介
【きのこの雑学書編】

『きのこる』
堀　博美・著　山と渓谷社
きのこに関する漫画から映画まで色々な角度できのこの魅力を紹介。

『きのこの下には死体が眠る！？』
吹春 俊光・著　技術評論社
意外と知られていないきのこの面白い生態を紹介。

ここで紹介した本のほかにも、環境情報センターでは環境や自然に関する本をたくさん所蔵しています。
お気軽にスタッフに声をかけてください。

次回の特設コーナー

動物の探し方

（実施期間：10 月 20 日～11 月 30 日）

オススメ図書

『動物の「跡」図鑑』
ジニー・ジョンソン：著　文溪堂

『森の動物出会いガイド』
子安 和弘・著　ネイチャーワーク

◇10月の環境研イベント案内◇

★きのこ写真展

県内で撮影された色々なきのこが見られる写真展です。今年はテーマを分けて展示します。

開催期間

第 1 期：テーマ［似ているきのこ］ 9 月 18 日(土)～10 月 22 日（金）

第 2 期：テーマ［標高別］ 10 月 23 日（土）～11 月 23 日（火）

9：00～17：00（最終入館：16：30） 場所：本館 1F ホール 申込不要

★剣丸尾自然探検

秋の剣丸尾の森を歩いて自然の不思議を体感する観察会です。

日時：10 月 30 日(土) 9：00～12：00 場所：環境研周辺の剣丸尾の森

対象：県内在住・在勤の小学生以上の方（中学生以下は保護者同伴）

定員：60 名 ※2 年続けての参加はできません

受付：9 月 30 日（木）9：00 から電話または来所にて申込み受付中！（定員になり次第締め切り）

一言では終わらない 環境研一言日記

昆虫たちの黄昏

ようやく夏の暑さが和らぎ、涼しくなってきた環境研。外を見ると、色々なトンボを見かけるようになりました。

昆虫は、夏はセミやカブトムシ、秋はキリギリスなど季節によって観察できる種類の変化がわかりやすいので、昔から四季の変化を知る手がかりとなっていました。それだけではなく、ことわざや慣用句に用いられたりしてきました。

しかし近年、タガメやトンボといった身近で親しまれていた昆虫たちの多くが絶滅の危機に瀕しています。乱獲をはじめ、人々の生活様式が急激に変化し、生息地が破壊されたなどその原因は多種多様です。**『絶滅危惧の昆虫事典』**（川上洋一・著）ではそんな昆虫の現状を種類ごとに詳しく紹介しています。中にはオオクワガタなどの名前もあり、親しみ深い昆虫も危ういことがわかります。

トンボにコオロギなど秋に見かける昆虫はたくさんいます。しかし、何年か後にはそういった昆虫が絶滅危惧種になってしまう事態は避けたいものですね。

【編集後記】

10 月 2 日に行われた「秋の森ときのこ観察会」では、アミタケなど様々なきのこが観察されました。今回の記事はそれにちなんで、きのこの魅力を知る図書などを紹介しました。いかがでしたでしょうか。№25 は 11 月 5 日発行予定です。次回もお楽しみに。(担当：オザワ)

お問い合わせ	
〒403-0005	山梨県富士吉田市上吉田字剣丸尾 5597-1
tel	0555-72-6202（環境情報センター）
Fax	0555-72-6204
HP	http://www.yies.pref.yamanashi.jp/
E-mail	jouhou@yies.pref.yamanashi.jp